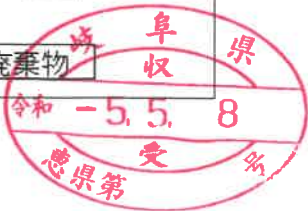


様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5年 5月 8日	
岐阜県知事 古田 肇 殿	
提出者 住 所 岐阜県中津川市落合下笹目650番の1 氏 名 中津川生コン有限責任事業組合 落合工場 代表 梅田 辰也 電話番号 0573-69-3311	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	中津川生コン有限責任事業組合 落合工場
事業場の所在地	中津川市落合下笹目650番1
計画期間	令和 5年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	29,000 万円
③ 従業員数	22 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)<div><div>作業所環境管理責任者 工場長</div><div>文書管理責任者</div><div>産業廃棄物管理担当者</div><div>産業廃棄物・マニフェスト管理</div><div>苦情処理受付担当者</div><div>工場騒音・振動・粉じん等の苦情対策</div><div>環境整備担当者</div><div>工場周辺の環境美化</div><div>粉塵発生防止担当者</div><div>建設機械・車両の管理</div><div>環境管理担当者</div><div>作業員における環境教育</div><div>工場における環境管理全般</div></div></div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	排出量	3,894 t	1.93 t
	(これまでに実施した取組) ・洗浄から発生したものは、分別によるリサイクル ・コンクリート打設現場からの返品はリサイクル製品の作成		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	排出量	3,000 t	1.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・分別により製品（生コン）へのリサイクル・コンクリート打設現場からの返品は有料化し、発生の抑制を図る・新しいリサイクル品の開発・販売及び再利用・分別及び修理業者自ら回収により削減		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートを洗浄した水をリユース ・生コンクリートより砂利、砂を分別しリサイクル		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートを洗浄した水をリユース・生コンクリートより砂利、砂を分別しリサイクル・生コンクリートとして大型ブロック、土間等に使用する・プラスチック類のみに分別		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	150 t	0.0 t
	（これまでに実施した取組） ・分別によりコンクリートスラッジ分をコンクリート練り混ぜ水に使用 ・生コンクリートを簡易舗装として使用及びリサイクル製品の大型化・型枠の数量増によりリサイクル率の向上、持ち帰りを抑制する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	0.0 t
	（今後実施する予定の取組） ・分別によりコンクリートスラッジ分をコンクリート練り混ぜ水に使用 ・生コンクリートを簡易舗装として使用及びリサイクル製品の大型化・型枠の数量増によりリサイクル率の向上を行う。 ・持ち帰りを抑制する。 ・工場内、近隣での環境整備に使用（雑草押さえ等）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和一年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） —		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和 一年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和4年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	3, 7 4 4 t	1. 9 3 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3, 7 4 4 t	1. 9 3 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	—		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	廃プラスチック類
	全処理委託量	2,800 t	1.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2,800 t	1.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) —		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

- 7 ※欄は記入しないこと。